

甲府市北東中学校・・・6月28日（水）

前期教育ボランティア活動が始まりました。今回訪問させていただいたのは、甲府市立北東中学校（11学級、生徒数268人）です。甲府市立北東中学校では、国語や数学など様々な教科で授業補助として、5人の学生の皆さんが活動しています。内訳は1年生2人、2年生1人、3年生1人、4年生1人です。当日は、お忙しい中にもかかわらず、数野保秋校長先生、戸澤智教頭先生が対応してくださいました。

5校時は、1年2組と3組の数学の授業を参観しました。ここでは早野朱香さん（科学教育コース1年）と岩崎南さん（科学教育コース1年）が教育ボランティアとして活動していました。一人一人の生徒が授業に集中している中で、熱心に指導にあたっていました。



<岩崎 南さん 数学の授業補助>

生徒の皆さんの声です

- ・わからないところが、聞けるからいいです。
- ・詳しく教えてくれるからいいです。
- ・居てくれるとうれしいし、楽しいです。

◇早野さんと岩崎さんに聞いてみました

教育ボランティア活動をしようと思ったきっかけは何ですか。

- ・小学校か中学校の先生になりたいです。また、実際に中学生と関わりたいと思いました。
- ・高校の数学の先生を希望しています。先輩に教育ボランティアを進められました。また、大学1年生の早い時期からやってみたいと思いました。

教育ボランティア活動の感想を聞かせてください。

- ・中学生と関わっていると楽しいと感じました。
- ・中学生とは6歳違いだけど、元気で活動的だと思いました。

教育ボランティア活動で気付いたこと学んだことは何ですか。

- ・丁寧に細かく教えないといけないと思いました。
- ・生徒に積極的に声かけをしていくことが大切だと思いました。
- ・生徒は落ち着けばできる力があると気づきました。
- ・教えすぎてもいけないが、その加減が難しいです。



<早野朱香さん 数学の授業補助>

数野保秋校長先生のお話

学校では、学力の向上や心の教育の充実と並び、学校の多忙化解消も大きな課題となっています。その一助として、大学生の皆さんの活動は役立っています。この教育ボランティア活動は、学校にとっても学生さんにとってもウィンウィンの関係となるよう願っています。大学生と中学生は、年齢が近いので気軽に声を掛けたり、掛けられたりする関係ができればよいと思います。

戸澤智教頭先生のお話

つまずいている生徒や特別な支援を必要とする生徒へのサポートを是非ともお願いしたいです。また、部活動の指導にもあたっていただくとありがたいです。

◇訪問を終えて・・・早野さんや岩崎さんが1年生から「先生になる」という目標をしっかりと持ち、中学校での授業補助の体験から学びを深めていることが大変すばらしいと思いました。多くの学生の皆さんが、できるだけ早い段階から教師としての実践力を高めるため、教育ボランティア活動に参加されることを願っています。日頃の教育ボランティア活動の受け入れや今回の学校訪問に際しまして、北東中学校の先生方のご配慮に心から感謝致します。